



WEEKLY REPORT

<本年度会長方針>

あらためてロータリーを考えよう No.1124

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 川畑博敬 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 田崎雅三 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第1322 回例会

平成23年7月7日(木)
於 名古屋銀行協会
出席計算数 会員 59名
49名中42名出席
出席率 85・71%
前々回出席率 87・27%

「君が代」「奉仕の理想」

指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコソックス

川畑 博敬

川畑会長はじめ新年度の理事・役員の皆様方頑張ってください。

岩崎 征一・草野 勝彦

川畑会長・田崎幹事、一年間よろしくお祈り致します。

浅野 彰・近藤宏一郎

酒井 修・前田 隆久

川畑・田崎氏のご健闘祈ります。

柴岡 正将・鬼頭 茂成

今年度もよろしく。木村 光徳・渡辺 観永
七ツです。藤田 衛 激

いします。神野 邦利
新年度がスタートしました。高木 政義
今年度はクラブ奉仕です。よろしくお祈りします。山口 正孝
岡田さん、佐藤さん、ありがとうございます。春日井和良
SAとして一年間頑張りますので宜しくお願いします。吉田 憲一

会長挨拶

会長 川畑 博敬

皆様こんにちは。今日から一年間、会長として皆様にお世話になります。よろしく指導賜りますようお願い申し上げます。私は今年度のテーマを「あらためてロータリーを考えよう」としました。それは、この激動の時代が続く中で、人としてきちんと生きるために、まさに今、ロータリーの心が求められていると思っております。

だからこそ一度くらいはロータリーについてみんなで付き合わせたいと思います。ロータリーの原点とは何かと言ふ哲学的な事も大切ですが、また、話し合いのなかで、名古屋大須RCの27年間の歴史の中で、忘れてしまっている大切な事があるかもしれません。また、いかげん改革をしなければならぬ事も色々とあります。とにかく、チャーターメンバーも新入会員も、フィフティフィフティの立場で語り合う事が必要で

す。方向感のあるロータリークラブを目指して、心を開いてロータリーを語り合う一年としたいと思います。

新旧会長・幹事バツシ交換



岩崎征一 直前会長、松本哲朗 元幹事、10-11 年度おつかれさまでした。

会長所見

会長 川畑 博敬

さて、岩崎会長が会長所見を述べられてからももう一年もたったのかと驚いています。本当に時が経つのは速いもので、私も名古屋大須RCに入会させていただいて、もう18年も経ちます。入会したての頃は何もわからずに1〜2年過ぎましたが、だんだんクラブの中身が分かってくると辞めたくなくなりました。それは、クラブの会員がどんな人たちなのか分かってきたからです。凄なお金持ちだった社会的地位が高かったり、どうしてこんな人たちと付き合う必要



があるのか、まして当時は君付けで呼べと強要するんです。機会があればすべし退会しようと思つて虎視眈々とすーっと狙っていました。そんな時、今入院中の横内さんが会長卓話で宇野千代さんの話をされたんです。宇野千代さんに会うまで横内さんはさつと昔話や自慢話が多いだろうなと思つていました。しかし、横内さんは宇野千代さんに会ってびっくりしたそうです。それは、あの当時高年齢な宇野千代さんが、昔話や自慢話などいっさいされず、ご自分の将来の事を目を輝かせて語っていた姿に驚いたと。私はその話を聞いてはっとしました。昨日まで、やだやだと思つていたお金持ちの人や社会的地位の高い人というのは、昨日までの彼らの努力によって作られたものだ。そんな彼らの昔に比べられず今日から明日に向かって自分も一生懸命努力をして競争したらいいのではないかと閃いたんです。そんな事で、今もまた名古屋大須RCの皆様にお世話になっていきます。一人前になったかどうが...

とにかく今も戦い続けています。
私か、この名古屋大須RCから
学んだ事は明日に向かかって努力す
るという言葉です。だから今日か
ら一年間、私は名古屋大須RCの
明日のために皆様と共に努力した
いと思っております。皆様の絶大
なるご協力をいただきますようよ
ろしくお願いいたします。

さて、名古屋大須RCの明日を
考える上で重要なことは二つあり
ます。まず一番目は、私たちが一
番得意とする事をより伸ばすとい
うことです。名古屋大須RCは素
晴らしい特色を持っています。そ
れは、テーマを与えらわぬこの
ロータリークラブも足元にも及
ばない程の企画を立案し、また、
参加する人たちの心に深く残る演
出をする能力があると言っています
です。私たちの名古屋大須RCは、
今まで青少年交換留学の事業を特
色としてきました。ただ、この事
業はいろいろな団体で行うように
なってきました。したがって、こ
の事業は今まで通り行っていくも
向かも一つ、私たちの特色を生か
した、新入会員獲得において他
クラブに絶対負けない継続できる
事業を立ち上げる事が重要だと私
は思います。この事を未来ビジョ
ン委員会を中心にみんな語り合
う一年としたいとおもいます。

そして一番目に重要な事は、名
古屋大須RCの一番の問題点を改
善する事です。それは、会員増強

をすると言った事です。毎年会員が
ほとんど減ってピーク時の約80%
になってしまい、おかげさまで毎
年赤字をくり返し委員会活動は縮
小していく縮小状態になってしま
いました。会計の佐藤彰さんにシ
ミュレーションしてもらった結果、
今の会費なら80名の会員数があ
れば絶対赤字にはならず、そこそ
このクラブ運営が出来る事が解り
ました。

今年度、まだ入会して間もない
丹下富博さんにむりやり会員増強
委員長になってもらい、クラブ会
員全員で会員増強を行いたいと思
います。丹下さんが、少々うるさ
く言うこともあるでしょうが、決
して怒らず協力してください。私
たちが名古屋大須RCのためなのだ
から。

以上、私は今年度、対外的な事
よりも対内的な事に重点をおいて
活動したいと思っています。より
良い名古屋大須RCを形作るため
に皆様のご協力が必要です。よろ
しくお願いいたします。

幹事所見

幹事 田崎 雅二

昨年、焼肉屋で川畑会長より幹
事要請を受けまして、お酒も入っ
ていて気軽に「はい」と答えて以
来、日々失敗したと後悔の念が深
まる毎日です。名古屋大須RCに
お世話になり10年を迎えました。
幹事を努めさせて頂きます。田崎で



す、宜しくお願いいたします。

さて、川畑会長の考えを具体的に
に推し進める事が私の役目と思っ
ています。川畑会長は「会員増強」
の重要性を1年間ずっと説かれて
きました。

私はそのツールのひとつにHP
の充実をご提案いたしました。若
い世代の方々は辞書を引く前にネ
ットをたきます。この現象が良
いか否かは断定できませんが、わ
がクラブもこの行動パターンを利
用しない手はないと考えています。
より多くのロータリアン予備軍に
大須RCの素晴らしい活動、特色
をPRし双方向のコミュニケーション
を進めることで興味の喚起、
理解、僕も参加したいというアク
ションに繋がるようなHPの活用
を模索しようと思っています。

パンコン、メール・まったく
興味ない、解らないとお叱りを頂
く事もあるかと思いますが、事務
局の二人にも協力を願ひパンコン
教室も実施する予定です。(有料で
す)会員の皆さんにも明日に向か
って努力する前向きなご協力をお
願ひいたします。

すでに各委員長さんにはお願い
しておりますが、今年度はクラブ
計画書の内製化をはじめ、各委員
会の配布資料などはデジタルデー
タで事務局にメールでの提出をお
願ひしています。事務局は各委員
会の書面を制作する係りではあり
ません。クラブ全体の運営、管理、
会員増強のためにもっと多くの重
要な仕事を委託する事になります。
各委員の方々もご理解頂きご協力
をお願いいたします。

他のクラブに絶対負けない継続
できる事業の立ち上げについて、
未来ビジョン委員会を中心に「ディ
スカッションする会長方針」があり
ましたが、来年1月以降、月1回
のペースで例会を活用した場をス
ケジューリングしています。

また、上期は会員増強を全員で努
力いただくシステムを考えていま
す。

詳しくは丹下さんより後日ご説明
させていただきます。

本日も名古屋銀行協会さんにお
世話になっておりますが、今年度
は例会場を他の場所に移す機会も
増やしています。会場の変更など
皆さんの携帯メールに前日にお知
らせを送る予定です。東急ホテル
での例会での卓話をもっと実のあ
る中身の濃い内容で我々の将来に
役立つものにするために卓話時間
を長くしたいと考えてます。その
ためにカシール例会を年間回数取り
入れます。ご理解頂けますようお

願ひいたします。
未熟な点はありますが、皆さん
のご指導を頂き楽しいクラブ運営
に精一杯努力いたします。どうぞ
宜しくお願いいたします。

会員増強表彰

岩崎 征一



岩崎征一 直前会長、多くの新入会員の
ご紹介、ありがとうございました。

7月21日(木) 例会の案内

委員長所見

国際奉仕委員長

加藤巴千彦さん

親睦活動委員長

神野 邦利さん

会計

佐藤 彰さん

30周年準備委員長

木村 光徳さん

広報委員会

酒井 修・吉田 明夫
松永 裕子・小野 定男
*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。